

電気代分析レポート【経営サマリー】

株式会社ケー・ツー（安城・猿投・高岡） / 電力：株式会社U-POWER

分析対象：前期(FY2025) 2024年4月～2025年3月 vs 当期(FY2026) 2025年4月～2026年3月 / 作成日：2026年4月20日

当期間間使用量 976,899 kWh 前年比 -21.4%	当期間間請求額 ¥27,166,695 前年比 -25.7%	当期CO2排出量 361.5 t-CO2 前年比 -21.4%	平均単価 ¥27.81/kWh 前期 ¥29.41/kWh
---	---	--	--

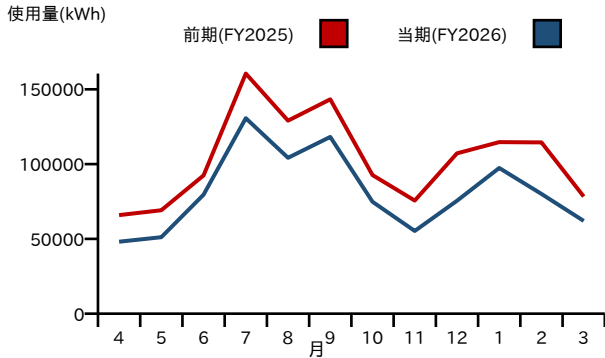
■ エグゼクティブサマリー

当期（FY2026）の3拠点合計電力使用量は 976,899 kWh で、前期から -21.4% (-266,455 kWh) の大幅削減を達成。請求額は ¥27,166,695 で前年比 -25.7%。CO2排出量は -98.6 t-CO2削減し、これは杉の木 7,042本/年の吸収量に相当。ただし、単価は前期¥29.4/kWh→当期¥27.8/kWhと-5.4%上昇しており、使用量削減の成果が単価上昇により一部相殺されている状況。今後は契約電力の最適化・市場連動プランの見直し・非化石証書活用等の継続検討を推奨。

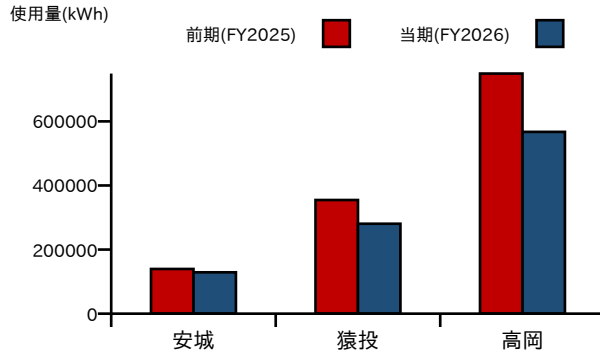
■ 拠点別サマリー

拠点	前期使用量 (kWh)	当期使用量 (kWh)	増減率	前期請求額 (円)	当期請求額 (円)	増減率	CO2削減量 (t-CO2)
安城	139,476	129,034	-7.5%	¥4,180,721	¥3,506,201	-16.1%	+3.9
猿投	354,656	280,618	-20.9%	¥10,522,145	¥7,855,000	-25.3%	+27.4
高岡	749,222	567,247	-24.3%	¥21,860,921	¥15,805,494	-27.7%	+67.3
合計	1,243,354	976,899	-21.4%	¥36,563,787	¥27,166,695	-25.7%	+98.6

■ 月次使用量推移（3拠点合計）



■ 拠点別年間使用量比較



電気代分析レポート【環境・TCFD Scope 2 排出量開示】

CO2排出量・環境分析

前提：CO2排出係数は中部電力ミライズ2024年度調整後 0.411 kg-CO2/kWh
を基準に、U-POWERの「GREEN10」メニュー（再エネ証書10%相当）を加味し 0.370 kg-CO2/kWh
と仮置き。正式値はU-POWERから取得推奨。

指標	前期(FY25)	当期(FY26)	増減
電力使用量 (kWh)	1,243,354	976,899	-266,455
CO2排出量 (t-CO2)	460.0	361.5	-98.6
杉の木換算 (本/年)	32,860	25,818	-7,042
一般家庭CO2排出 何世帯分	279世帯	219世帯	-59世帯

環境貢献：前年比で98.6 t-CO2のCO2削減を実現。これは杉の木 7,042本/年の吸収量、一般家庭
59世帯の年間電力由来CO2排出量に相当します。非化石証書活用率を GREEN10→GREEN30/100
に引き上げることで、さらなる実質排出ゼロ化が可能です。

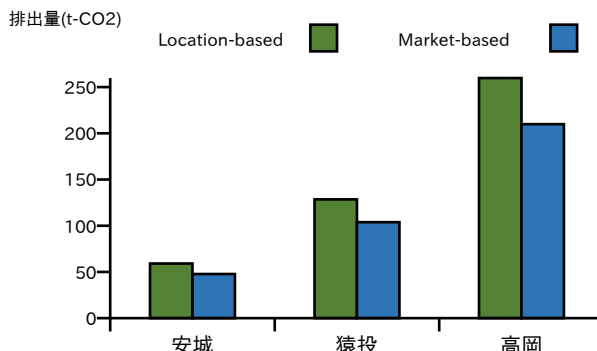
TCFD/IFRS S2 準拠 Scope 2 排出量開示 (Dual Reporting)

GHG Protocol Scope 2

Guidanceに基づき、Location-based法（系統平均排出係数）とMarket-based法（契約メニュー係数）の両方法でScope
2排出量をDual Reportingします。本開示はTCFD最終提言・IFRS
S2（ISSB）準拠の気候関連情報開示のベースとして利用可能です。

算定方法	排出係数 (kg-CO2/kWh) FY25→FY26	前期排出量 (t-CO2)	当期排出量 (t-CO2)	削減量 (t-CO2)	削減率	出典・備考
Location-based (中部電力ミライズ 基礎排出係数)	0.450 → 0.458	559.51	447.42	-112.09	-20.0%	温対法 算定・報告・ 公表制度（環境省）
Market-based (U-POWER GREEN10 調整後排出係数)	0.370 → 0.370	460.04	361.45	-98.59	-21.4%	U-POWER契約メニュー (仮値：公表値取得要)
【参考】全国平均 代替値 (Location)	0.436	542.10	425.93	-116.17	-21.4%	温対法 代替値 (令和4年度実績)

拠点	当期 Location-based (t-CO2)	当期 Market-based (t-CO2)	L-M差額 (証書効果)
安城	59.10	47.74	11.35
猿投	128.52	103.83	24.69
高岡	259.80	209.88	49.92
合計	447.42	361.45	85.97



Dual Reporting 結果：当期(FY26)のScope 2排出量は Location-based 447.4 t-CO2、Market-based 361.5 t-CO2
となり、U-POWER GREEN10契約（非化石証書10%相当）による削減効果は 86.0 t-CO2（19.2%）。電力使用量削減（▲
21.4%）と合わせ、Location基準で前年比▲20.0%、Market基準で▲21.4%のScope 2削減を達成。

【開示注記】①算定対象：Scope 2（購入電力）のみ。Scope 1・3は対象外。②組織境界：経営支配力基準（安城・猿投・高岡の3事業所）。
③Market-based排出係数は仮値（中部電力ミライズ調整後×0.9）のため、U-POWER正式公表値取得後に更新。
④TCFD推奨開示4項目（ガバナンス・戦略・リスク管理・指標と目標）は本報告＋別添Excelに対応。